

(仮称) 東神吉こども園設計業務委託に係るプロポーザル審査結果及び講評

1 第2次審査結果

契約候補者 株式会社戸室太一建築設計室
次点者 株式会社相坂研介設計アトリエ

2 第1次審査結果

第1次審査通過者：5者

3 第1次審査書類提出数

38者

4 選考経緯

平成29年5月10日 第1次審査書類提出期限
平成29年5月26日 第1次審査による選考
平成29年5月30日 第1次審査通過者の決定通知
平成29年6月10日 第2次審査による選考
平成29年6月15日 選定結果等の通知

5 審査講評

(仮称) 東神吉こども園は、充実した教育や保育のための環境を提供するとともに、地域に開かれた拠点施設のひとつになることが期待された建物である。またその敷地は、周囲に住宅、小学校、水路、田畑など地方都市特有の多様な要素が混在するとともに、一般道とスクールゾーンという2種類の道路に囲まれた特徴的な条件を有している。今回のプロポーザルは、そういった期待への空間的構想と、複雑な敷地条件への対応の2つが問われたといえる。

第1次審査では、書類を提出した38者について、業務実績および提案内容について審査を行い、5者を第1次審査通過者として選定した。

第2次審査では、第1次審査通過者に対するヒアリングを行い、第1次審査の採点結果、ヒアリング時のプレゼンテーションと質疑応答の内容、設計業務の見積金額について審査し、契約候補者および次点者を選定した。

契約候補者による計画提案は、先の2つの問いに対する見事な解答であった。何より、「コモン・ゲート」というコンセプトに基づき、こどもの安全に対しては「閉じる」、地域とのつながりに対しては「開く」という相矛盾する条件を両立させるために考案されたコの字型の平面・断面計画が秀逸である。それによって、こどもたちにとっての安

全で魅力的な環境と、地域への開かれたインターフェイスが実現した。またその構成には、地方都市における公共建築のモデルとも言えるような一般性もあり、高く評価された。

ヒアリング時の質疑応答においても、契約候補者からは、計画内容はもとより地方都市や公共建築のあり方についての深い洞察が示された。また、契約候補者が語った「諸活動の背景としての建築」という建築観からは、今後の加古川市および園関係者との調整および実施設計の遂行における柔軟な対応が期待できた。

これらの点を総合的に評価し、契約候補者を選定した次第である。

なお、他の応募者の提案にも興味深いものが多かったが、一長一短があり、契約候補者のそれにはあと一步およばなかった。

今後、選定された計画提案を元に、加古川市にふさわしく、地域に親しまれるこども園が整備されることを期待する次第である。

平成 29 年 6 月

加古川市建築物設計事業者選定委員会
委員長 花 田 佳 明